

使い倒される図書館になるには？

平成24年10月26日
学術情報リテラシー教育担当者研修 10班

▶ 使い倒される図書館にしたいけれども……



もっと使ってほしい!!

図書館は今

▶ 図書館自体は知られている

⇒ サービス全体への認知度が低い

どうして?

- ▶ 図書館サービスの広報不足
 - ▶ 図書館に来る価値を見いだせていない
- ▶ インターネットの普及
 - ▶ 更新性・速報性で劣る
 - ▶ 図書館へ行くのが面倒くさい

じゃあどうしたらいいの？

1. 知ってもらおうことが大事
→ 広報
2. 家からでも利用できるようにする
→ 遠隔サービスの充実
3. 速さに対抗する
→ 質の向上

こうしてみようー①広報


- ▶ 口コミで人を集める
 - ▶ 各コミュニティへ出張ガイダンス
 - ▶ 満足度の高いサービスを提供

こうしてみようー②遠隔サービスの充実

- ▶ 既存のパスファインダーのWeb公開
- ▶ ワンクリックで遠隔サービスにアクセスできるように
 - ▶ 家から使える各種データベースなど情報源をナビゲート
 - ▶ 入口を分ける、一覧にする

こうしてみようー③質の向上

- ▶ マニュアル化と共有
 - ▶ ガイダンス資料などのテンプレートの作成・共有
 - ▶ 更新履歴を残す

- ▶ 実施結果の公開と評価の仕組み
 - ▶ ガイダンスの実施報告をWeb公開
 - ▶ コメントを残せるようにする 

まとめ

- ▶ どう使い倒されたいのか
 - ▶ 来館してほしい？
 - ▶ ガイダンスの参加者が増えたらいい？

⇒生活のなかで図書館の様々な側面を
活かしてほしい

学生生活の文脈に
図書館から
飛び込んで行こう!!